

《担当者名》○向谷地 生良 ikuyoshi@hoku-iryo-u.ac.jp 鈴木 和

【概要】

本講義では精神障害リハビリテーションの歴史、概念を学び、現在、日本の精神保健医療福祉分野で活用されている領域におけるプログラムの目的、方法、効果などについての基本的な知識と理解を得ることで、学生が精神保健福祉実習の現場で活用されているプログラムの理解と参加が促進され、学習が深まることが期待される。

【学修目標】

わが国の精神障害リハビリテーションの歴史的背景、及び概念を理解する。

精神障害リハビリテーションが地域、病院でどのように展開されているか、そこに精神保健福祉士がどのように関わっているかを知る。

精神障害リハビリテーションのプログラムの内容について知識を深め、実践についての具体的なイメージを形成し、実習の援助場面で活用できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 精神障害リハビリテーションの定義	履修上の注意 リハビリテーションの歴史的背景と概念 権利の回復	向谷地、鈴木
2	障害者リハビリテーションの基本原則 リカバリーの定義	基本原則 リカバリー概念	向谷地、鈴木
3	精神科リハビリテーションとソーシャルワークの関係	障害とニーズ 個人・環境への介入 人権・権利回復	向谷地、鈴木
4	精神科リハビリテーション実践	医学的リハビリテーション 職業的リハビリテーション 社会的リハビリテーション 教育的リハビリテーション	向谷地、鈴木
5	精神科リハビリテーションの構成(1)	精神障害リハビリテーションの対象とチームアプローチ	向谷地、鈴木
6	精神科リハビリテーションの展開プロセス	ケースの発見 インテーク アセスメント プランニング(リハビリテーションのプログラム選択) リハビリテーションの実施 モニタリングと評価	向谷地、鈴木
7	医学的リハビリテーション(1)	認知行動療法 行動療法	向谷地、鈴木
8	医学的リハビリテーション(2)	作業療法 健康自己管理のプログラム	向谷地、鈴木
9	医学的リハビリテーション(3)	依存回復プログラム デイ・ケアプログラム	東 大地(特別講師) 向谷地、鈴木
10	職業的リハビリテーション(1)	就労準備プログラム 援助付き雇用プログラム IPSモデル	向谷地、鈴木
11	職業的リハビリテーション(2)	復職支援プログラム 就労定着プログラム	向谷地、鈴木
12	社会的リハビリテーション	SST 心理教育プログラム	向谷地、鈴木

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		WRAP 生活訓練・地域移行プログラム 家族支援・家族による自助グループ	
13	教育的リハビリテーション	特別支援教育プログラム 障害支援プログラム	向谷地、鈴木
14	精神障害リハビリテーションの動向と実際	当事者主体プログラム（当事者研究） ピアサポート	澤口 篤（特別講師） 向谷地、鈴木
15	世界におけるリハビリテーションの動向と実際	対話実践 オープンダイアログ 当事者研究（韓国）	向谷地、鈴木

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 100%

【教科書】

精神障害リハビリテーション論

【備考】

本講義は精神保健福祉士国家受験資格取得のための「精神障害リハビリテーション論」に該当する。

【学修の準備】

精神保健福祉分野のフィールドワーク（学会、研究会、セミナーなどの参加）を積極的に行うことが望ましい
予習は、次回の授業で行う学習内容について読み込み、理解できたことや疑問点などを明確にしておくこと（80分）。
復習は、授業で取り上げた学習内容について振り返り、理解を深めること（80分）。

【ディプロマポリシー】

DP 1, 2, 4

【実務経験】

向谷地生良（精神保健福祉士） 鈴木和（社会福祉士・精神保健福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

精神科病院、就労支援の現場での臨床経験に基づき、グローバルな視点から個人の自立のテーマに至るまで、精神障害者支援の実践的な知識を講義する